



衛生だより

県内PED発生情報（23例目）

確定診断日	発生農場	症状
3/24 (23例目)	県北東部 肥育農場（約 5,000 頭飼養）	肥育豚 3 頭で黄色水様性下痢

そのイノシシ対策、本当に正しいですか？

県内で豚熱陽性のイノシシは確認されていませんが、全国的にはどのような状況なのでしょう
か？ 隣の茨城県に目を向けると、これまで霞ヶ浦の北側にしか分布していなかった陽性のイ
ノシシが、今年に入ってからは南側、つまり、利根川のすぐ北側でも確認されるようになりました。

千葉県に豚熱陽性のイノシシが侵入してくるリスクは、これまで以上に高くなっています。これ
を機に、農場のイノシシ対策をもう一度見直してみませんか？

●ポイント1 近づかせない！

農場近くの茂みは、イノシシの格好の隠れ場となります。
定期的な草刈りにより隠れ場をなくし、イノシシが近づか
ない環境を作りましょう。

●ポイント2 「エサ場」をなくす！

農作物はもちろんのこと、生ゴミなど身の回りの思わぬも
のがイノシシを引き寄せるエサとなります。農場＝エサ場
だと学習させないよう、環境を改善しましょう。

●ポイント3 囲いで守る！

イノシシから農場を守る最後の砦が、「柵」ですが、
設置した時点が対策の完成ではありません。点検・補修をこまめに行い、侵入防止効果を長期
にわたって維持していくことが重要です。

～複数の対策を効果的に組合わせて、イノシシから農場を守りましょう！～

【参考】農村地域（農地・農業用施設）へのイノシシ・シカ侵入防止対策の手引き（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyoo/kankyoo_hozen/attach/pdf/index-72.pdf

イノシシの目線は成獣で高さ50cm
程度です。この目線より植物が高くな
ると、イノシシは自分が隠れているも
のと安心して、行動が活発化するので
注意が必要です。

草刈りは
イノシシ対策の
基本です！

50cm



⚠ 飼養衛生管理の再確認、再徹底を！

○車両消毒の徹底、交差汚染の防止

特に、と畜場、死亡獣畜回収場所、家畜市場、共同糞尿処理場など、
畜産施設に出入りした際は、消毒を徹底しましょう。



○畜舎専用衣服・靴の着用 ○農場・畜舎へ入る際の手指の消毒

○畜舎・器具のこまめな清掃、消毒

○野生動物との接触・侵入防止対策の徹底

ネズミ、昆虫の駆除、豚舎外壁の補修、**防護柵・防鳥ネットの設置等**

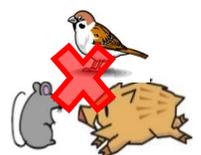
○継続的なワクチン接種

接種した母豚の母乳を、確実に哺乳豚に飲ませるように注意しましょう。

○毎日の健康観察と早期発見及び異常時の早期通報

飼養豚に異状が見られたら、直ちに家畜保健衛生所に通報を！

（北部家畜保健衛生所 Tel.0478-54-1291）



堆肥舎、死体保管場所への設置
も忘れずに！